



# 妊娠期の健康づくり 妊婦の無料健診の 早期の拡大を

五十嵐多喜子議員

い等の意見が出た。現在県は、医師会と協議中。筑後市もその結果を待ちながら準備をすすめたい。

## 水路の環境保全、市の役割は

**問** 筑後市は、交通の利便性から市外からの引越しも多く、生活排水の量も多くなっていると思われる。市民の方から、水路の流

れが悪い、においがする、色もなんだかついていて心配だ、という声がある。

## 環境経済部長

**市長** 市の行政の中で水路をみている。個人の対応は

行政が最も遅れている、と認識。しかし、そこに住む人達のありとあらゆる技術

にお金、心意気をかければ、

**問** 今年2月の衆院予算委員会では厚労大臣は、現在2回位の妊婦の無料健診をまず5回程度に、と答えている。子育て支援目的の地方交付税が国から配分されているが、筑後市では、どう考えているのか。

## 健康づくり課長

3月に県で市町村の意見を聞く交換会があった。5回実施を前提とした、健診内容、単価等について、これまで同様県と医師会で協議して欲しい



整備が遅れている水路

# 安全・安心のまちづくりの 取組み推進は

原口英喜議員

**問** 北小校区では、平成16年

に住民が協力して「安全・安心まちづくり推進協」が発足した。この取組みはいま全市に広がりつつあるが、

市はどう推進しようと考えているのか。

**市長** 国の安全神話が崩壊しつつある中、安全で安心したまちづくりに向けては、

市民との協働の意味からも行政が第一線に立ち進みたい。

**問** この3月に策定された第四次市総合計画では、安全・安心のまちづくりの取組みをどう位置づけ、また市として取組み体制の強化など考えているのか。

**総務課長** 市民との協働で犯罪の起こりにくいまちづくりを目指しており、市民参加型の事業推進を図る。取組みは現在、総務課で担当しているが、市窓口を含

## 活動の実状と成果

**問** この活動に参加している市民の数と団体数は。また活動の成果はどう評価しているのか。

## 総務課長

平成19年6月現在、自主防犯組織数は14団体、会員数1,927人である。自主防犯組織が設立されて筑後署管内では、刑

## 取組み推進のための 条例制定をどう考えるか

**問** この取組みは、警察、

行政、住民が一体となり推進する必要があり、いま以上の取組み推進を図るための条例制定を議員提案でもとを考えているかどうか。

## 市長

議員提案による条例制定については、ありがた

い。そのような取組みが実施されれば、真摯に受けと



第四次筑後市総合計画